ボーリング柱状図

調　査　名　　広島県尾道庁舎耐震改修工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	広島県尾道市古浜町２６－１２			北　緯	34° 24’ 2.15″
発 注 機 関	広島県　土木建築局　営繕課			調査期間	平成28年7月16日～28年9月30日	東　経	133° 10’ 15.32″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人		コ　ア 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +3.016m	角　度	180°上 90° 下 0° 0°	方　向	北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 2°	使用機種	試 錐 機	東邦地下工機　D1-C43	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	20.00m								エンジン	ヤンマー　NFD-13K	ポ ン プ	東邦地下工機　BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.62	0.40	0.40		砂礫	黄褐			埋土。φ=3cm以下の礫多い
	2.32	0.30	0.70		粘土質砂	橙褐			埋土。パッチ状に不均質。
1	1.52	0.80	1.50		砂礫	褐灰			埋土。径5～20cmの硬質な角礫を多く含む。基質はシルト混り砂
2 3 4	-1.28	2.80	4.30		細礫混り砂	帯褐白～灰白	rd3～rd2		淡渋土。貝殻片を多く含む砂(マサ)。細粒～粗粒砂からなり、全体が正級化構造をなす。シルト分はわずか。GL-2.0m以深は粗粒砂が多い。GL-3.2m付近は細礫含み貝殻片多い。GL-4.1m付近、細礫主体で貝殻片少ない。
5 6	-3.38	2.10	6.40		砂	帯褐灰	rd2		淡渋土。貝殻片を混じえる砂。細粒～中粒砂主体で、全体が不明瞭な正級化構造をなす。粗粒砂や細礫を含む。シルト分はわずか。GL-5.0m以深は全体に粗くなり中粒砂主体。
7 8	-5.68	2.30	8.70		シルト混り砂	褐白	rd2～rd3		厚さ3～5cmのシルト～シルト質砂層とシルト混り砂層が互層状をなす。細粒～中粒砂主体。部分的に粗粒砂や細礫を含む。シルト層中には炭質片を含む層あり。貝殻片多い。GL-7.9m付近、-8.15m付近の標準貫入試験では礫当たり(φ=5cm、-8.15m)。
9	-5.98	0.30	9.00		シルト	青灰		rc1	(スライムよりの判定)
	-6.68	0.70	9.70		シルト混り砂	灰	rd2		GL-9.25m以浅、シルトパッチ含む細粒～中粒砂。φ=2cmの礫含む
10	-6.98	0.30	10.00		シルト	青灰		rc1	均質なシルト層(スライムより)
11	-8.78	1.80	11.80		シルト混り砂	緑灰	rd3		GL-11.0m以深ではパッチ状にシルト分を含む。細粒～中粒砂主体。粒径の変化により不明瞭な層状。貝殻片を混入。GL-10.15mφ=2cmの礫。GL-11.25m付近に粗粒砂多い
12	-9.23	0.45	12.25		砂	灰白	rd3		細粒～粗粒砂。下端付近に炭質物
13	-9.98	0.75	13.00		シルト混り砂	緑灰	rd3		細粒～中粒砂。上位層との境界明瞭。上位層に比べ貝殻片少ない
14 15	-11.98	2.00	15.00		シルト質砂	緑灰	rd1～rd2		細粒～中粒砂主体。上部は木片多く、所々に炭質物を含む。貝殻片も多い。下部は厚さ2～5cmの細礫混りシルト層と砂層が互層。GL-14.1m付近は有機質成分を混在。GL-14.4m付近は粗粒砂を混じえる。
16	-12.98	1.00	16.00		シルト質砂	緑灰	rd3		細粒砂が主体。GL-15.2～15.5mは砂質シルト。GL-15.5m以深は中粒～粗粒砂を混じえる
	-13.33	0.35	16.35		シルト	暗緑灰		rc2	3層に区分。有機質シルト、粘土、シルトからなる
17	-14.23	0.90	17.25		シルト質砂	緑灰	rd3		細粒～中粒砂主体。下部で粗粒砂を含む。下端付近は淘汰悪い
	-14.53	0.30	17.55		火山灰	褐白		rc3	均質で締まった細粒火山灰層
18	-14.83	0.30	17.85		シルト質砂	緑灰	rd3		推定層。
	-15.13	0.30	18.15		シルト	緑灰		rc3	上部は木片を含むシルト層、下部は砂や細礫を含む粘土層
19	-15.88	0.75	18.90		シルト質砂	緑灰	rd3		GL-18.3m以浅は細粒砂主体。以深は細粒～粗粒砂で淘汰悪い
	-16.18	0.30	19.20		シルト	暗灰		rc2	砂や木片を含むシルト～粘土
20	-16.98	0.80	20.00		シルト質砂	緑灰	rd2		細粒砂主体。GL-19.35mシルト分多い
21									

孔内水位m／測定月日：8/10 0.85m、8/12 1.55m

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.65	4	4	2	10	10.0
2.45	1	2	2	30 5	5.0
2.45				30	
3.15	3	5	4	12	12.0
3.45				30	
4.15	3	5	3	11	11.0
4.45				30	
5.15	3	2	4	9	9.0
5.45				30	
6.15	2	3	4	9	9.0
6.45				30	
7.15	2	2	2	6	6.0
7.45				30	
8.15	6	3	4	13	13.0
8.45				30	
9.15	2	3	3	8	8.0
9.45				30	
10.15	4	5	6	15	15.0
10.45				30	
11.15	4	6	6	16	16.0
11.45				30	
12.15	4	4	5	13	13.0
12.45				30	
13.15	1	1	1	3	2.3
13.55	15		15	40	
14.15	3	2	4	9	9.0
14.45				30	
15.15	4	4	4	12	12.0
15.45				30	
16.15	5	4	5	14	14.0
16.45				30	
17.15	3	2	11	16	16.0
17.45				30	
18.15	8	7	8	23	23.0
18.45				30	
19.15	3	3	3	9	9.0
19.45				30	
20.15	3	3	5	11	11.0
20.45				30	

原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進 月/日
1.65～1.95	2P1-1	P	物理試験	
1.95～2.45	2P2-2	P	物理試験	
3.15～3.45	2F3-3	P	物理試験	
5.15～5.45	2P4-5	P	物理試験	8/9
7.15～7.45	2F1-7	P	物理試験	
9.15～9.45	2F2-9	P	物理試験	
10.15～10.45	2F3-10	P	物理試験	
11.15～11.45	2F4-11	P	物理試験	
12.25～12.45	2F5-12	P	物理試験	
13.15～13.55	2F6-13	P	物理試験	
14.15～14.55	2F7-14	P	物理試験	
15.15～15.45	2F8-15	P	物理試験	8/10
17.05～17.25	2F9-17	P	物理試験	
18.15～18.45	2F10-18	P	物理試験	
19.20～19.45	2F11-19	P	物理試験	8/12